分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 70
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
文化・芸術のまちづくり事業	一般	10	4	8	4,949,487	文化・スポーツ振興室

事業の概要

文化・芸術の一層の推進を図るため、文化イベントの開催及び運営支援を行います。多様化する市民の文化・芸術ニーズへの充実を図り、市民の関心が高まる事業を「長岡京芸術劇場」として展開します。

平成30年度の取組

D（取組）

指標		長岡京芸術劇場の事業数・入場者数				単位	事業・人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
平成28年度新規事業（参考：長岡京音楽祭 6事業　3,295人）	目標	14事業 8,500人	16事業 9,500人	18事業 10,500人	20事業 11,500人	22事業 12,500人	
	実績	15事業 9,864人	20事業 17,591人	19事業 18,593人			

・平成28年度から取り組んでいる"長岡京芸術劇場"事業は、今年度、長岡京芸術劇場実行委員会主催事業が５事業、市主催事業として１事業、その他長岡京芸術劇場の趣旨に協賛するなどし、行われた事業が13事業でした。
・長岡京芸術劇場実行委員会主催事業では、ホールでのコンサートにとどまらず、小学校や中学校吹奏楽部へ演奏家などが出向き、出張演奏会や出張指導などを実施しました。
・また、5月3日には、国民文化祭から続く「長岡京駅前広場コンサート」を開催。市内の吹奏楽部や一般の団体など９団体が参加し、多くの市民が来場しました。

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ with中学校吹奏楽部コンサートの様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成30年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・「長岡京芸術劇場」の一環として実施する事業は、昨年度から１事業減少しましたが、それぞれの事業においてラジオ放送やポスター掲出などの広報に力を入れ、入場者数が1,000名程度増加しました。
課題等	・「長岡京芸術劇場」事業のＰＲ方法と各事業への来場者の増加が課題です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・文化芸術事業の一体的ＰＲや魅力発信のため、「（仮称）長岡京市文化芸術推進ビジョン」を策定します。 ・ポスターやチラシの配架に加えて、昨年度開局したＦＭおとくになど新たなツールを活用し、ＰＲを実施していきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 71
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
長岡京記念文化会館運営支援事業	一般	10	4	8	72,500,000	文化・スポーツ振興室

事業の概要

長岡京記念文化事業団に対し運営支援を行い、質の高い舞台芸術の提供と充実を図ります。また、京都府に対して長岡京記念文化会館の機能充実を求めます。

平成30年度の取組

D（取組）

指標	長岡京記念文化会館（ホール）入場者数					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
97,405（平成26年度）	目標	98,500	99,500	100,500	101,500	102,000	
	実績	77,736	87,805	89,894			

・長岡京記念文化会館主催事業として、音楽（５公演）、古典芸能（１公演）、音楽劇（２公演）、映画（５上映）、ラジオ（１公演）および公演付帯事業（３事業）を実施しました。
・事業実施や貸館業務のほかに、今年度から中央公民館の一部事務を受託しました。
・老朽化による壁面等からの雨漏り対策を京都府へ要望し、修繕を行いました。
・主催事業の広報活動として、市広報紙やホームページでの情報提供のほか、市役所庁舎１階でのイメージビデオの放映や、ＦＭ京都、ＦＭおとくにに出演者に参加してもらうなど、新たなＰＲを行いました。

小学校での出張演奏会の様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

C（評価）

平成30年度の達成状況

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・使用可能日数277日間のうちホールの使用率は65.7%で、昨年度の62.0%から3.7%伸びました。これと比例して、利用者も2,000人ほど増加し、市民等が文化芸術に触れる機会が増加しました。
課題等	・音響設備がアナログであることや、設備の老朽化により、利用者からは改善の要望が出ています。 ・施設の老朽化で改修が必要になっているとして、京都府による「府民サービス等改革検討委員会」の検証の対象施設となりました。地元市との移譲を含めた今後のあり方を検討をしていくとの方針が示されているため、今後、本市としても検討や対応が必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・今後も安定的に施設を利用できるよう、京都府への修繕、改修等の要望を行っていきます。 ・主催事業や貸館利用の計画的な実施のため「（仮称）長岡京市文化芸術推進ビジョン」の中で文化会館の活用について検討します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 72
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
文化活動推進・支援事業	一般	10	4	8	2,732,000	文化・スポーツ振興室

事業の概要

生涯学習や文化芸術への関心の増進と交流を図るため文化団体の文化・芸術活動を推進し、活動支援を行います。

平成30年度の取組

D（取組）

指標	文化まつり等文化団体事業における参加者数（出品者・出演者・鑑賞者）					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
9,505（平成26年度）	目標	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600	
	実績	9,752	7,758	9,123			

・長岡京市文化協会の運営支援、補助金の交付などを通し、文化事業の開催、実施を支援しました。
・文化協会では、10月12日～14日まで「市民文化まつり」を、３月８日～10日まで「長岡京展」を開催しました。そのほか、文化協会会員の協力により、初心者などを対象に行う市民文化教室をのべ10回開催。12月16日には「水彩画の色材を学ぼう」と題し、外部講師を招いて文化講座を開催し、多くの市民などの参加がありました。
・また、文化協会会員以外に向けても、文化奨励事業補助金を交付し、市内での活動や芸術鑑賞の機会増加のための支援を行いました。

市民文化まつりの様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成30年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	文化まつり等文化事業における参加者数（出品者・出演者・鑑賞者）	・文化、芸術活動に携わる人が、固定化している傾向があります。 ・年齢層も高齢化してきており、新たに団体に加入したり、事業に参加する人たちを増やしていくことが必要です。	203

達成度合	達成状況
B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	・雨天により例年実施している「名月の宴」が開催できませんでしたが、「市民文化まつり」や「長岡京展」では、昨年度より参加者数は増加し、文化活動による交流が図られました。

課題等

・文化芸術活動に携わる人が、高齢化、固定化している傾向があります。

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・新たに文化活動に携わる人を増やすため、文化協会の人材を活用するなどし、初心者向けの「市民文化教室」や「文化講座」の開催などを支援していきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 73
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
埋蔵文化財調査センター及びふるさと資料館の検討	一般	10	4	5	41,170,000 7,642	生涯学習課

事業の概要

長岡京市公共施設等再編整備構想2017に基づく埋蔵文化財センターの今後と（仮称）ふるさと資料館基本構想に基づく整備の検討を行います。検討においては「整理作業・展示・保管」の3つの機能に分け、それぞれについて課題を整理し方向性を検討します。

平成30年度の取組

D（取組）

指標	埋蔵文化財センターの啓発事業参加者数					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
3,600（平成26年度）	目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
	実績	2,657	2,848	3,882			

・埋蔵文化財調査センターで常設展示、特別企画展「乙訓・西岡の要～勝龍寺城～」、埋文ミニ展示「井ノ内車塚古墳と井ノ内稲荷塚古墳」「弟国宮杯・土馬レース」「速報！未発見の離宮か？」を開催し、入館者は述べ2,363人でした。
・小学５年生から中学生が対象の夏休み歴史教室「土馬を作ろう！」を開催しました。
・発掘調査現地説明会（１回）、文化財講演会（２回）、調査成果報告会、スライドでみる乙訓の発掘、などを開催しました。
・ふるさとガイドの会などの依頼により、職員を講師として派遣しました。
・中学生の仕事体験学習の受け入れや小学生の発掘調査見学を行いました。
・埋蔵文化財センターの今後と（仮称）ふるさと資料館の整備について、庁内で公共施設の再編検討と合わせて情報共有を行いました。

右京第1177次調査現地説明会

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成30年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	—	—	—

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・弟国宮遷都1500年を記念した展示を行うなど時期に合わせた工夫を行い、埋蔵文化財調査センターへの訪問者数が前年度より720人増加しました。 ・啓発事業参加者数も、前年度より大幅に伸び、目標を達成しました。 ・現在検討を進めている新庁舎の中に「歴史資料展示スペース」を確保するため、関係課と協議を行い、方向性について共有することが出来ました。
課題等	・調査・研究の成果を広く展示・公開する場の確保や機会の創出に努め、学校・自治会・市内団体などと連携し、歴史・文化への関心を高める取り組みが必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・埋蔵文化財調査センターの今後について、関係課と協議を進めます。 ・（仮称）ふるさと資料館の整備検討について、公共施設再編の進捗に合わせて、実現可能な案を引き続き検討していきます。 ・観光やシティプロモーションなど幅広く関係する事業との連携を図り、歴史・文化の啓発活動を行っていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 74
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
史跡等整備・活用事業	一般	10	4	5	4,141,270	生涯学習課

事業の概要

平成26年度に開園した史跡恵解山古墳公園を広く市民が利用できるよう充実を図ります。また、平成27年度に国の史跡として指定された「乙訓古墳群」の公有化と整備を行い「悠久の都」としての長岡京市の認知度を高めます。

平成30年度の取組

D（取組）

指標	乙訓古墳群の利活用及び整備の進捗状況					単位	―
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
乙訓古墳群の国史跡指定（平成27年度）	目標	乙訓古墳群公有化着手	乙訓古墳群保存整備基本構想検討委員会設置	乙訓古墳群に関係する委員会・懇話会のあり方検討	乙訓古墳群保存・活用検討委員会の設置	乙訓古墳群保存・活用検討委員会の運営	
	実績	乙訓古墳群公有化着手	乙訓古墳群公有化及び追加指定	乙訓古墳群に関係する委員会のあり方検討			

・恵解山古墳保存・活用検討懇話会を開催し、恵解山古墳公園をどのように維持し、活用していくのかについて、関係団体や近隣の学校と意見交換しました。
・平成30年度の文化財保護法改正により、市町村が作成できることとなった古墳を含めた文化財の総合計画である「文化財保存活用地域計画」について、情報収集を行いました。

恵解山古墳公園でのたけのこ掘り体験

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成30年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・恵解山古墳公園の利用促進のため、懇話会において市民や学校とともに意見を交換しました。 ・恵解山古墳に残された竹林で小学生のたけのこ掘り体験が実施され、子どもの体験活動の場として利用されました。 ・改正された文化財保護法に関する研修会に参加し、今後の国や京都府の動きについて、情報収集を行いました。
課題等	・文化財の保存と活用について、「文化財保存活用地域計画」も視野に検討を進めていく必要があります。 ・特に乙訓古墳群として国の指定を受けた５基の古墳のうち、整備活用されている古墳は恵解山古墳と今里大塚古墳のみで、未整備の古墳についてどのような整備を行い、活用していくか検討する必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・国指定の史跡となった古墳を含む文化財をどのように整備し、活用していくか具体的に検討するため、土地所有者や学識経験者、地元住民、観光関係者などと協議をしていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 75
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
歴史資料活用・保存事業	一般	10	4	5	3,969,445	生涯学習課

事業の概要

歴史資料の損失・散逸を防ぐため、市内の未調査の歴史資料を収集・調査、保存・活用に取り組むと同時に調査済みの歴史資料の補充調査を行います。
また、中野家住宅の歴史資料の収集・整理・調査・保存を行うとともに、市民に対して収集した歴史資料及び調査成果を公開・活用します。

平成30年度の取組

D（取組）

指標	中野家住宅の所蔵資料の調査と公開					単位	―
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
国登録有形文化財「中野家住宅」の寄贈（平成26年度）	目標	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調査報告書作成	中野家住宅の所蔵資料の公開	
	実績	中野家所蔵の歴史資料について、寄贈を受け、調査を開始し、保存処理を実施した	中野家所蔵の歴史資料について、調査を進めた	中野家所蔵の歴史資料について調査を進め、保管のための害虫防除処理を行った			

・市内に伝来した歴史資料（中野種樹家文書・佐藤久夫家文書・楊谷寺文書等）について、収集・調査・整理及び保存・管理にかかる①現状把握・②クリーニング・③ナンバリング・④目録作成・⑤撮影・⑥複製物の作成・⑦ラベル添付・⑧害虫防除・⑨修理を実施しました。
・普及・教育活動では、図書館1Fミニ展示や講座「ふるさとワーク」の開催しました。また、各種原稿の執筆や市所有の歴史資料の貸出やデータ提供等を行いました。

調査の様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

C（評価）

平成30年度の達成状況

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・中野家所蔵の歴史資料を調査した結果、中野家の来歴、特にその生業について明らかになりました。これまで中野家は茶屋を営んだと推測されていましたが、染物・洗い張りをする悉皆屋、酒造小売の請酒屋を家業とし、次第に領主調子家の金融にも関与して力をつけていったことが判明しました。
課題等	・地域に伝わる歴史資料は、近年所蔵者の世代交代や価値観の多様化などによる、散逸・破損・劣化が危惧されています。また、市の魅力発信や生涯学習社会の進展により、歴史資料の積極的な活用が求められています。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
１：計画通りに進めることが適当	・中野家所蔵をはじめとした歴史資料の公開、その成果をコンテンツとして活用できるよう、引き続き調査および適切な保存・管理を進めていきます。